

一〇二二年三月一二日

岬鼻の砲台跡やすみれ咲く

よう子

フリスピーナイスキャッチや草青む

かかし

啓蟄や蟻巣のやうな路線地図

凡士

春山路谷水楽を奏でけり

わかば

朝東風に汐の香るや倉庫街

素秀

庵の戸を開けるやいなや梅香る

なつき

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

水温む年号読めぬ決壊碑

むべ

なつき

はく子

大いなるうねりに浮沈浮寝鳥

こすもす

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

百相の納めだるまや梅の宮

なつき

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

川風にほつれては梳く猫柳

愛正

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

地下通路ヒールの靴音冴返る

よう子

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

囀りや鶲の地鳴き混じりをり

凡士

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

春風裡消防団の銀しころ

むべ

たんぽぼの絮そよ風に旅立てる

はく子

毎週句会秀句・みのる選・一〇二二年三月一三日